

eM Client Licensing Manager をご利用いただき、ありがとうございます！

このガイドでは、eM Client のライセンスシステムについて簡単に説明します。

[Licensesta タブ](#) および [Activations タブ](#) では、ライセンスの管理とアクティビティを確認するための機能について説明します。[Server Settings タブ](#) では、eM Client のライセンスまたはアクティベーションに特定の値（署名やテンプレートなど）を追加するための設定手順について説明します。

ACCOUNT


<https://licensing.emclient.com/> にアクセスし、eM Client のライセンスシステムにログインします。Welcome メールで受け取ったログイン情報を使用してください。

パスワードを変更する方法は、以下の2通りの方法があります。a) [Home] タブから [Change Password] ボタンをクリックするか、b) インターフェイスの右上隅の自分の名前をクリックして、[Manage your account] を選択します。

セッションを終了してログアウトするには、右上隅のメニューから [Logout] をクリックします。

LICENSES

Licenses には、**[Licenses]タブ**、**[Activations]タブ**、**[Server Settings]タブ** の3つのタブがあります。[Licenses] タブには、ライセンスの概要が表示されます。[Activations] タブには、ライセンスがアクティベートされているデバイスに関する情報が表示されます。[Server Settings] タブでは、アプリケーションの一連の設定を管理できます。

各タブの項目は  をクリックすると更新され、列見出しをクリックするとソートされます。

1) LICENSES タブ

[Licenses] タブには、ライセンスに関する情報が表示されます。

- **[Set Version]** ボタンをクリックすると、選択したライセンスに特定のバージョンを設定できます。設定した値が [Allowed Major Version] 欄に反映されます。
- **[Set Server Settings]** ボタンを使用すると、ライセンス全体のサーバー設定を設定できます。この機能については、[Server Settings タブ](#) で説明しています。
- **[Upgrade…]** ボタンをクリックすると、eM Client ストアに移動し、ご希望の商品をご購入いただけます。

ライセンスごとに、Updates（更新）モードを設定できます。

- Normal – 自動的にアップデートが提供されます。（標準動作）
- Manual – 管理者が設定したバージョンのみが提供されます。
- Never – 自動的にアップデートが提供されなくなります。
- Testing – 公開済みのアップデートプログラムにアクセスできます。このオプションはご自分の責任で選択してご利用ください。

必ず **[Save changes]** ボタンをクリックして、各変更を適用してください。

[Use IceWarp Server Settings] オプションは IceWarp ユーザー専用です。eM Client の[メニュー] > [ツール] に関連するオプションが表示されます。

2) ACTIVATIONS タブ

[Activations] タブには、アクティベート済みのすべてのアクティベーションキー（ライセンスキー）が表示されます。

- **[Deactivate]** ボタンは、選択したアクティベーションキーを無効にします。
- **[Reactivate]** ボタンは、無効化されたアクティベーションを再度有効にすることができます。アクティベーションキーを再適用する必要はありません。
- **[Set Version]** ボタンは、選択したアクティベーションキーに特定のバージョンを設定することができます。

- **[Set Server Settings]** ボタンは、ライセンスに適用するサーバー設定を設定することができます。この機能については、[Server Settings タブ](#) で説明しています。
- **[Show Deactivated]** オプションを選択すると、無効化されたすべてのアクティベーションキーが表示されます。

特定のアクティベーションを検索する際に最も効率的な方法は、HWGuid (Application Hardware GUID) を調べる方法です。お使いのデバイスの HWGuid を確認するには、eM Client の [ヘルプ] > [バージョン情報] で、**Ctrl+H** を押します。

その他、アクティベーションに関する情報には、以下があります：

- Activated: ライセンスがアクティベート (適用) された日付
- ActivationKey: 異なるキーで複数のライセンスを管理する際に便利です。
- Last Execution: プログラムが最後に実行された日付
- Last Request Version: アプリケーションを最後に実行した際に使用された eM Client のバージョン

… など

3) SERVER SETTINGS タブ

[Server Settings] タブでは、Graphic Editor を使ってプログラムの特定の設定 (会話設定、アプリケーションのテーマ、署名、Quicktext など) を選択し、特定のライセンスまたはアクティベーションに割り当てて反映させることができます。

新しいサーバー設定を追加する

[Add] ボタンをクリックして新しいサーバー設定を追加します。

1) 値を設定する

値を設定する方法は 3 通りあります。(a) Graphic Editor を使用する方法 (b) 外部の .xml ファイルを使用する方法 (c) License Manager の xml syntax を使用する方法

(a) Graphic Editor を使用する方法

[Edit in Editor] をクリックして、Graphic Editor を開きます。

General Settings

- 希望の値を設定します。特定の値が選択されていない場合、eM Client のデフォルトの設定が適用されます。
- 選択した値を適用するには、[Use] ボタンをチェックしてください。[Allow Edit] オプションをチェックすると、ユーザーが設定を変更できるようになります。
- [Save Settings] をクリックして選択した値を保存します。

例: 会話ビューを無効にしたい場合

- 会話ビューをオフにするには、[Mail] > [Read] を選択し、[Conversation] の [Converstaion view usage] のドロップダウンメニューから [Disable Conversation] を選択して [Use] ボタンをチェックします。[Allow Edit] オプションをチェックすると、ユーザーが設定を変更できるようになります。
- [Save Settings] をクリックして選択した値を保存します。

Signatures, Templates, Quicktexts

- 新しいアイテムを追加するには、アイテム名と必要な詳細を入力します。
- [Allow Edit] オプションがチェックされている場合、ユーザーはコンテンツを変更することができます。
[Overwrite] オプションがチェックされている場合、以前に使用した名前のアイテムをアップロードする際に元のアイテムが上書きされます。
- [Add...] ボタンをクリックして、新しいアイテムを保存します。
- [Save...] ボタンをクリックして、既存のアイテムの変更を保存します。

既存の Signatures / Templates / Quicktexts を使用する場合は、eM Client の [メニュー] > [ファイル] > [エクスポート] > [xml ファイルへ設定出力] > [署名、テンプレート、定型文] オプションを選択してエクスポートします。xml ファイルの保存先にアクセスし、[settings.xml] ファイルを任意のテキストエディタで開きます。

- 署名は <signatures> ... </signatures> タグの間
- テンプレートは <templates> ... </templates> タグの間
- 定型文は <quicktexts> ... </quicktexts> タグの間

[Use URL] オプションの詳細については、サポートにお問い合わせください。

例: xxxxx@emclient.jp のデフォルトとしての以下の署名を設定したい場合

<会社ロゴ> 山下 太郎 (Taro YAMASHITA) eM Client JAPAN

1. Signatures にアクセスします。
2. Signature 名を入力します。（例: emclient.jp の署名）
3. 必要に応じて eM Client で署名を変更できるように、[Allow Edit] オプションを有効にします。
4. [Target Email] フィールドに対象となるメールアドレス (この場合 xxxxx@emclient.jp) を入力します。新しいメッセージ、返信、転送用のデフォルトの署名として表示されます。
5. HTML コードを下部の大きなテキストフィールドに入力します:

```
<IMG SRC="https://emclient.jp/documents/graphics/logo.png"> <BR>  
山下 太郎 (Taro YAMASHITA)<BR>  
eM Client JAPAN<BR>
```

6. Signature を追加するには、[Add Signature] ボタンをクリックします。

Rules

Rules では、xml syntax を利用してルールを記述します。

ここで設定した現在のルールを使用する場合は、[メニュー] > [ファイル] > [エクスポート] > [xml ファイルへ設定出力] にて「ルール」オプションをオンにして、eM Client からエクスポートします。 .xml ファイルの保存先にアクセスし、settings.xml ファイルを任意のテキストエディタで開きます。このファイルの <rules>…</rules> タグの間にあるものすべてを Graphic Editor の <rules> </rules> タグの間にコピーします。

Accounts

Accounts では、xml syntax を利用してアカウントを追加します。

ここで設定した現在のアカウントを使用する場合は、[メニュー] > [ファイル] > [エクスポート] > [.xml ファイルへ設定出力] にて [アカウント] オプションをオンにして、eM Client からエクスポートします。.xml ファイルの保存先にアクセスし、settings.xml ファイルを任意のテキストエディタで開きます。

このファイルの <accounts> … </accounts> タグの間にあるものすべてを Graphic Editor の <accounts></accounts> タグの間にコピーします。

エクスポートしたアカウントを空白にするには、エクスポートした .xml ファイルを開き、次の手順を実行します：

- <AccountName> … </AccountName> タグを削除
現在の Windows ユーザー名が使用されます
- <PersonName> … </PersonName> タグを削除
現在の Windows ユーザー名が使用されます
- <Addresses> … </Addresses> タグを削除
サーバーからメールアドレスが取得されます
- 各 <Protocol> タグから <LoginName> … </LoginName> タグを削除
ユーザーは eM Client の実行時にログイン情報が必要になります

Restrictions

Restrictions では、アカウント設定の種類と数を制限できます。

制限付きプロファイルの例として、特定のドメイン上にチャットアカウントを無効に制限したメールアカウントを設定することができます。

このオプションの詳細については、サポートにお問い合わせください。

(b) 外部の .xml ファイルを使用する方法

[Use URL] ボタンをクリックして、.xml ファイルをアップロードして License Manager にリンクします。

(c) License Manager の xml syntax を使用する方法

[Use Content] 機能を利用します。

I. eM Client の特定のインスタンスからエクスポートされた設定を利用する

これを行うには、eM Client を開き、「メニュー」>「ファイル」>「エクスポート」>「xml ファイルへ設定出力」の順に選択します。.xml ファイルの保存先にアクセスし、settings.xml ファイルを任意のテキストエディタで開きます。このファイルの <settings>…</settings> タグの間にあるすべてのものを [Use content] フィールドの <setting> </setting> タグの間にコピーします。

II. グラフィックインターフェイスを介してコードジェネレータに若干の変更を加える (.xml syntax に詳しい場合)

[Save] をクリックして設定に名前を付け、すべての値を保存します。

注意: Server Settings 機能は設定を追加することしかできず、削除することはできません。

例として、[Allow Edit] オプションが無効のまま、署名がダウンロードされて eM Client に適用された場合があります。この場合、後に Server Settings が削除された際に、署名がプログラム内で動かなくなり、プログラムのインターフェイス内から署名を削除することができなくなります。以前に Server Settings で追加した設定をインターフェイスから削除したい場合は、必ず [Allow Edit] オプションを有効にしてから設定をダウンロードして eM Client に適用してください。

2) ライセンス/アクティベーションにサーバー設定を割り当てる

特定のライセンスに設定を割り当てるには、Licenses / Activations にアクセスします。

1. **[Set Server Settings]** をクリックします。
2. 一覧から設定を選択し、**[Save]** を押して確定します。
3. [License] のライセンスの詳細で、割り当てられたサーバー設定 (Server Settings) を確認できます。

3) eM Client に設定を適用する

設定を eM Client にすぐに適用したい場合は、eM Client の [メニュー] > [ヘルプ] > [アップデートの確認] をクリックします。

それ以外の場合、eM Client はアプリケーションが実行されるたび、またはサーバーに継続的に接続されている場合は 24 時間ごとに、サーバーの設定を適用します。

既存の設定を変更する

eM Client はサーバーに接続するたびに、現在の設定のハッシュと License Manager の設定のハッシュを比較します。eM Client は、すでにダウンロードしたものと同一ハッシュを持つ設定をサーバー上で見つけた場合、それらを再度ダウンロードすることはありません。

既存の設定に何らかの変更が加えられた場合は、**[Force Update]** ボタンを押して、新しいハッシュコードを生成する必要があります。外部の .xml で行われた変更にも新しいハッシュコードの生成は必要です。

上記の 3) で説明したように、サーバーの設定が適用されるタイミングは、eM Client の [メニュー] > [ヘルプ] > [アップデートの確認] をクリックするか、24 時間以内に変更された設定が適用されます。